

まじよのスピリチュアル物語

第一話

「姫よ、マジリアル姫よ。どこにいらつしやるのですかあ？」

木立の中に響く声。

小鳥の囀りが木漏れ陽を揺らし、爽やかなそよ風と共に穏やかな時間が流れゆく。昔の森の中を、血相を変えた者達が、草花を踏み分け歩き回っていた。

小動物達はブツシュの陰に身を潜め、森の精霊達は木陰に身を隠している。

「これこれ、お嬢さん、大丈夫かろう？」

鈍い頭痛と足の痛みにより、白い霧の中から意識を引き戻された。目の前に居る白髭の老人の音が耳に心地良い。

視界がはつきりと元に戻る頃、それでもマジリアルは事態が未だ飲み込めずにいた。

「これはこれは、足に酷い怪我をしておるではないか。あの崖から落ちられたのか？ さき、ワシの肩をお貸し致そう」

白髭の老人は彼女を抱き起こし、肩を貸すべく屈んでみたものの、その身長差は余りにも大きく、その試みは成功しなかった。

そこで老人は彼女を抱き上げ、傷の手当をする為、キラキラと太陽の光を反射して輝かせせらぎを渡り、虹色の水飛沫に包まれた滝の前を通り過ぎ、岩場の陰にある小屋へと彼女を連れて行った。

小屋の中はほんのりとした木の温もりに溢れ、お香の様な芳しい香りが微かに漂っていて、マジ

リアルは思わず深呼吸をしてその空気を吸い込んだ。

白髭の老人は手厚く怪我の手当てをしながら、「ところで、お嬢さんのお名前は？ どこにお住まいかな？」と彼女に聞いたが黙ったままなので、「ワシはマグワートじゃ。この森の住人」と自分から先に自己紹介を試みた。すると彼女は言った。「それが思い出せないのです」

老人は、彼女の瞳をじっと覗き込んだ。マジリアルは思った。「この人と前にどこかで会ったことがあるわ」

「以前、どこかでお目に掛かったかろう？」 マグワートは言った。「え？」 彼女は自分が思ったことが相手に分かったことにびっくりした。

するとマグワートは「人は初めて会う相手とも、過去世でも大抵は会っているものじゃ。単に道で擦れ違ふ人は然程の縁は無いにせよ、こうやって怪我の手当てをするというふうな相手とは何かしら縁があるものじゃ」と言った。

「どうなんですか？ それで懐かしい感じがしたんですか？」 マジリアルは自分がどこの誰かということとを思い出す前に、マグワートと縁のほづに興味がいついた。

「厳密に言えば、同じ魂の村の出身者である可能性が高いというところじゃな」

「魂の村？」 マジリアルに思いついてそれは初めて聞く言葉だった。

「そうじゃ。ワシらは肉体を

持つてこの世に生まれる前、魂の村におるのじゃ。そこでは私とあなたというような個別化した存在ではなく、ひとつにモヤモヤと溶け合っているような状態じゃ。その中から一滴のエッセンスが肉体に宿り、この世に人間として生まれて来るのじゃよ。そしてこの世での一生を終るとまたその村に戻るのじゃ。それを何回も繰り返して魂は学ぶのじゃ。輪廻転生じゃな」

目をパチパチさせているマジリアルに、マグワートは優しい穏やかな笑みを返した。

「お嬢さんは今、自分がどこの誰か思い出せないと言った。魂の村からこの世にやって来る際も同じことが起こる。つまり、魂の村のことも、過去世のことも、憶えていない。それには意味があるのじゃ。真新しい人生を一からやり直し学び直す為じゃ」

マジリアルはマグワートの話がイマイチ理解出来なかつたが、真新しい人生という言葉が心に染みていた。

「ところで、お嬢さん。お腹は減ってはおりぬか？ 美味しいスープを作つてあげよう」

マグワートの提案に、急に空腹であることを思い出したマジリアルであった。



チャネリング相談

Q 初夢で縁起が良いものに「一富士 二鷹 三なすび」というものがありますが、アメリカでも同じですか？ また悪い初夢を見てしまったらその年は悪い年になるのですか？ 初夢は元旦の夜ですか、それとも2日の夜ですか？ (Portland 在住 Yさん)

A そもそも縁起の良い初夢の解釈は、富士山は日本一高い山であり、鷹は高く上っていく生き物、そしてなすびは“事を成す”という意味合いから出てきた発想のようです (諸説あり)。「四扇 五煙草 六座頭」と続きますが、扇は末広がり、煙草は煙が天に高く上る、そして座頭は毛が無いので「怪我がない」という意味となります。

よって、アメリカで見る初夢も、この解釈に当て嵌まるものであれば、吉夢となるわけで、必ずしもそのものズバリが出てこなくても、広義の解釈により、吉夢とすることは可能です。つまり、見た夢を如何にポジティブに解釈するかということが重要であると言えます。

万一、悪夢を見たとしたら、お塩でお清めをすれば大丈夫ですし、また、現実には悪いことが起きないように敢えて悪夢を見ることで、浄化している場合もありますので、逆にラッキーだと解釈することも出来ます。

七福神が乗った宝船の絵に「長き夜の遠の眠りの皆目覚め 波乗り船の音の良きかな」という文を書いたものを枕の下に入れて寝ると良い初夢が見られるという説もありますが、大天使の絵をベッドルームに置くだけでも良いと私は思います。

初夢は大晦日の夜、元日の夜、2日の夜、または節分の夜、という説がありますが、そのいずれも初夢となり得ますし、何も見ないことも有り得ますが、夢の内容そのものよりも、朝起きた際に、今日も一日生きられる喜びに感謝することこそが、一番の「縁起」なのではないでしょうか。